

第一編

第一章

- ・愛鷹ローム団体研究グループ一九九六「愛鷹山麓のローム層―東名高速道路現場を中心として―」（『第四紀研究』八）
  - ・池谷信之二〇〇九『黒曜石考古学』（新泉社）
  - ・池谷信之・佐藤宏之編著二〇二〇『愛鷹山麓の旧石器文化』（敬文舎）
  - ・池谷信之・望月明彦一九九八「愛鷹山麓における石材組成の変遷」（『静岡県考古学研究』三〇）
  - ・海部陽介二〇一六『日本人はどこから来たのか？』（文芸春秋）
  - ・加藤学園沼津考古学研究所一九七二「駿河小塚―静岡県における先石器文化の研究」
  - ・市史編さん委員会編二〇二三『富士宮の歴史自然環境編』（富士宮市）
  - ・静岡県考古学会シンポジウム実行委員会一九九五『愛鷹・箱根山麓の旧石器時代編年 予稿集』
  - ・静岡県埋蔵文化財調査研究所編二〇一〇『下高原遺跡』
  - ・芝川町教育委員会編一九九五『小塚遺跡（第五次）』
  - ・富沢町誌編纂室編一九七一『天神堂遺跡』
  - ・中村雄紀二〇一一「愛鷹・箱根山麓の後期旧石器時代の石器群と遺跡分布の変遷」（『東京大学考古学研究室研究紀要』二二五）
  - ・保坂康夫・望月明彦・池谷信之二〇〇三「石材管理と石器製作―山梨県天神堂遺跡の黒曜石原産地推定と原産地クラスターの抽出から―」（『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』一一）
- 第二章（「富士宮市の縄文土器編年」を含む）
- ・池谷信之二〇一八「大鹿窪遺跡出土黒曜石製石器の原産地推定」（富士宮市教育委員会編『史跡大鹿窪遺跡発掘調査総括報告書』）
  - ・泉拓良・上原真人二〇〇九『考古学―その方法と現状』（放送大学教育振興会）
  - ・泉拓良・今村啓爾編二〇一三『講座日本の考古学3 縄文時代上』（青木書店）
  - ・泉拓良・今村啓爾編二〇一四『講座日本の考古学4 縄文時代下』（青木書店）
- ・大仁町教育委員会編一九八六『仲道A遺跡』
  - ・小野真一編一九七五『千居』（加藤学園考古学研究所）
  - ・加藤学園沼津考古学研究所一九七二「駿河小塚―静岡県における先石器文化の研究」
  - ・北垣俊明二〇二二「溶岩帯の概要」（富士宮市教育委員会編『史跡大鹿窪遺跡発掘調査報告書』）
  - ・小林謙一二〇一七『縄文時代の実年代―土器型式編年と炭素14年代―』（同成社）
  - ・小林謙一二〇一九『縄文時代の実年代講座』（同成社）
  - ・小林謙一二〇二〇『史跡大鹿窪遺跡の年代と定住生活について』富士宮市教育委員会編『史跡大鹿窪遺跡の歴史と環境』
  - ・小林謙一二〇二二「史跡大鹿窪遺跡の年代と定住生活について」（富士宮市教育委員会編『史跡大鹿窪遺跡の歴史と環境』第二版）
  - ・小林謙一二〇二三『縄文土器の成立と定着』（春成秀爾編『何が歴史を動かしたのか第一巻 自然史と旧石器・縄文考古学』雄山閣）
  - ・小林謙一二〇二五「富士宮市滝戸遺跡出土試料の炭素14年代測定」（富士宮市教育委員会編『滝戸遺跡Ⅲ』）
  - ・小林謙一・工藤雄一郎・国立歴史民俗博物館編二〇一一『縄文はいつから地球環境の変動と縄文文化』（新泉社）
  - ・小林謙一・深澤麻衣・米田穰・尾寄大真・大森貴之二〇二五「富士宮市若宮遺跡および黒田向林遺跡出土土器付着物の炭素14年代測定」（富士宮市教育委員会編『富士宮市文化財年報』一五）
  - ・小林達雄編二〇〇八『総覧縄文土器』（アム・プロモーション）
  - ・小林淳・村田昌則・鈴木毅彦二〇二二「大鹿窪遺跡で確認した富士火山起源のスコリア層と広域テフラ層序」（富士宮市教育委員会編『史跡大鹿窪遺跡発掘調査報告書』）
  - ・静岡県編一九九〇『静岡県史 資料編一 考古一』
  - ・静岡県編一九九四『静岡県史 通史編一 原始・古代』
  - ・静岡県埋蔵文化財センター編二〇一三『裾野市富沢・桃園の遺跡群』
  - ・芝川町教育委員会編一九九五『小塚遺跡（第三次・第四次）』
  - ・芝川町教育委員会編一九九五『小塚遺跡（第五次）』
  - ・芝川町教育委員会編二〇〇三『大鹿窪遺跡・窪B遺跡（遺構編）』
  - ・芝川町教育委員会編二〇〇六『大鹿窪遺跡・窪B遺跡（遺物編）』

- ・芝川町教育委員会編二〇〇六『猫沢遺跡』
- ・下岡順直二〇二二『遺跡形成過程復原のための遺跡堆積物のルミネッセンス年代測定』（『史跡大鹿窪遺跡発掘調査報告書』）
- ・白石浩之・村澤正弘一九九六『かながわの縄文文化の起源を探る』（『神奈川県考古学会』）
- ・鈴木三男二〇二〇『びっくり!! 縄文植物誌』（同成社）
- ・高瀬尚人二〇二二『地中レーダ探査』（富士宮市教育委員会編『史跡大鹿窪遺跡発掘調査報告書』）
- ・中部地方建設局一九九五『お宮の森裏遺跡』（建設省飯田国道工事事務所）
- ・沼津市教育委員会編二〇〇一『葛原沢第四遺跡（a・b区）発掘調査報告書1』
- ・橋詰潤二〇二〇『大鹿窪遺跡8号竪穴状遺構の比較考古学的検討―北東アジアの土器出現期の視点から―』（静岡県考古学会編『縄文時代草創期の初期定住とその環境―富士山麓からの視点』）
- ・深澤麻衣二〇二〇『縄文時代草創期土器の成立と展開―大鹿窪遺跡出土の押圧縄文土器を中心として―』（静岡県考古学会編『縄文時代草創期の初期定住とその環境―富士山麓からの視点』）
- ・深澤麻衣二〇二五『附編 滝戸遺跡の草創期と早期について』（富士宮市教育委員会編『滝戸遺跡Ⅲ』）
- ・富士宮市教育委員会編一九八一『月の輪遺跡群』
- ・富士宮市教育委員会編一九八一『滝ノ上遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九八二『月の輪遺跡群Ⅲ』
- ・富士宮市教育委員会編一九八二『代官屋敷遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九八三『若宮遺跡』（日本道路公団名古屋建設局）
- ・富士宮市教育委員会編一九八五『沼久保坂上遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九八五『上石敷遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九八五『南原遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九八六『黒田向林遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九八九『小松原A遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九九一『稲干場遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九九三『富士宮市の遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九九四『峯石遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九九四『猪之頭養鱒場内遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九九七『滝戸遺跡』

- ・富士宮市教育委員会編二〇〇〇『石敷遺跡』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇〇一『箕輪A遺跡』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇〇四『辻遺跡』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇〇五『大中里坂下遺跡』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇〇五『大室遺跡』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇〇七『滝戸遺跡Ⅱ』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇〇七『丸塚遺跡』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇〇八『富士宮市の遺跡Ⅳ』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇一〇『千居遺跡範囲確認調査報告書』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇一〇『代官屋敷遺跡Ⅱ』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇一三『富士宮市内遺跡分布調査報告書』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇一六『富士宮市の遺跡Ⅴ』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇一七『富士宮市の遺跡Ⅵ』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇一八『史跡大鹿窪遺跡発掘調査総括報告書』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇一八『図録富士宮市の遺跡』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇二一『富士宮市の遺跡Ⅶ』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇二四『富士宮市の遺跡Ⅷ』
  - ・富士宮市教育委員会編二〇二五『滝戸遺跡Ⅲ』
  - ・みどり市教育委員会編二〇一七『西鹿田中島遺跡発掘調査報告書2』
  - ・山田康弘・設楽博己編二〇二四『Q&Aで読む縄文時代入門』（吉川弘文館）
- ※図は国土数値情報（行政区域データ・河川データ・湖沼データ）（<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>）、地理院タイル（標高タイル（基盤地図情報数値標高モデル））（<https://service.gsi.go.jp/kiban/>）を加工して作成

### 第三章

- ・安城市歴史博物館編二〇一四『特別展 大交流時代 鹿乗川流域遺跡群と古墳時代前夜の土器交流』
- ・石川日出志一九九九『4東日本弥生墓制の特性』（国立歴史民俗博物館編『新弥生紀行北の森から南の海へ』）
- ・遠藤英子二〇一二『レプリカ法から見た東海地方縄文弥生移行期の植物利用』（『第一九回考古学研究会東海例会 縄文／弥生移行期の植物利用と農』）

耕関連資料)

- ・大阪府立弥生文化博物館編一九九七『卑弥呼誕生 邪馬台国は畿内にあった?』
- ・大阪府立弥生文化博物館編二〇一五『女王創出の現象学 卑弥呼』
- ・岡内三眞一九八九『青銅の威風と形』(工楽善通編『古代史復元5 弥生人の造形』講談社)
- ・岡村渉・中川律子・小泉祐紀二〇一八『静岡の弥生時代農耕の成立と展開』(日本考古学協会二〇一八年度静岡大会実行委員会編『境界の考古学』静岡県考古学会)
- ・近藤義郎一九五九『共同体と単位集団』『考古学研究』六一一
- ・鈴木敏則一九八七『欠山様式とその前後 西遠江型』(『欠山式土器とその前後研究・報告編』東海埋蔵文化財研究会)
- ・鈴木敏則二〇〇二『地域の様相2 遠江』(西相模考古学研究会編『弥生時代のヒトの移動と相模湾から考える』六一書房)
- ・高田亮・山元孝広・石塚吉浩・中野俊二〇一六『富士火山地質図(第二版)』(産業技術総合研究所地質調査総合センター)
- ・寺沢薫一九八六『矢部遺跡』(奈良県立橿原考古学研究所)
- ・瀬田佳男一九九八『石器から鉄器へ』(都出比呂志編『古代国家はこうして生まれた』角川書店)
- ・春成秀爾・小林謙一・坂本稔・今村峯雄・尾崎大真・藤尾慎一郎・西本豊弘二〇一一『古墳出現期の炭素一四年代測定』(『国立歴史民俗博物館研究報告』第一六三集)
- ・森岡秀人二〇〇四『農耕社会の成立』(歴史学研究会・日本史研究会編『日本史講座 一 東アジアにおける国家の形成』東京大学出版会)

第四章

- ・石野博信編二〇〇五『季刊考古学 九〇 前方後円墳とは何か』(雄山閣)
- ・太田宏明編二〇二二『季刊考古学 一六〇 横穴式石室から見た古墳時代社会』(雄山閣)
- ・大塚初重編一九九二『季刊考古学 別冊三 東国の古墳』(雄山閣)
- ・河上邦彦編二〇〇三『季刊考古学 八二 終末期古墳とその時代』(雄山閣)
- ・考古学ジャーナル編集委員会編『月刊考古学ジャーナル 二月号』五五四
- ・静岡県教育委員会編二〇〇一『静岡県の前方後円墳―個別報告編―』

- ・静岡県教育委員会編二〇〇一『静岡県の前方後円墳―資料編―』
- ・静岡県教育委員会編二〇〇一『静岡県の前方後円墳―総括編―』
- ・静岡県埋蔵文化財調査研究所編二〇〇九『浅間大社遺跡山宮浅間大社遺跡』
- ・鈴木一有・田村隆太郎編二〇一九『季刊考古学 別冊三〇 賤機山古墳と東国首長』(雄山閣)
- ・西光慎爾編二〇二四『季刊考古学 一六九 よみがえる日本列島の古墳時代』(雄山閣)
- ・土生田純之・亀田修一編二〇〇九『季刊考古学 一〇六 古墳時代とは何か』(雄山閣)
- ・富士山考古学研究会編二〇二〇『富士山噴火の考古学 火山と人類の共生史』(吉川弘文館)
- ・富士市立博物館編二〇一四『富士山の下に灰を雨らす富士の噴火と古墳時代後期の幕開け』
- ・富士市立博物館編二〇一七『富士山かぐや姫ミュージアム館報』第三二号
- ・富士市教育委員会編一九七九『大室古墳 古墳実測調査』
- ・富士市教育委員会編一九八一『月の輪遺跡群』
- ・富士市教育委員会編一九九一『丸ヶ谷戸遺跡』
- ・富士市教育委員会編一九九三『富士宮市の遺跡』
- ・富士市教育委員会編一九九五『上石敷遺跡』
- ・富士市教育委員会編一九九七『滝戸遺跡』
- ・富士市教育委員会編二〇〇〇『元富士大宮司館跡』
- ・富士市教育委員会編二〇〇一『丸ヶ谷戸遺跡Ⅱ』
- ・富士市教育委員会編二〇〇三『浅間大社Ⅱ』
- ・富士市教育委員会編二〇〇三『富士宮市の遺跡Ⅱ』
- ・富士市教育委員会編二〇〇五『大中里坂下遺跡』
- ・富士市教育委員会編二〇〇五『富士宮市の遺跡Ⅲ』
- ・富士市教育委員会編二〇〇七『三ツ室遺跡』
- ・富士市教育委員会編二〇〇八『富士宮市の遺跡Ⅳ』
- ・富士市教育委員会編二〇〇九『神祖遺跡』
- ・富士市教育委員会編二〇〇九『東田遺跡』
- ・富士市教育委員会編二〇一三『浅間大社Ⅲ』
- ・富士市教育委員会編二〇一三『富士宮市内遺跡分布調査報告書』

- ・富士宮市教育委員会編二〇一三『丸ヶ谷戸遺跡Ⅲ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一四『元富士大宮司館跡Ⅱ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一八『図録 富士宮市の遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編二〇二五『滝戸遺跡Ⅲ』
- ・山本孝文編二〇二四『季刊考古学 一六七 古墳時代日韓交渉の基礎資料』（雄山閣）

## 第二編

### 第一章

- ・奥野高廣・岩沢愿彦校注一九六九『信長公記』（角川書店）
- ・静岡県編一九三三『静岡県史料第二輯』
- ・静岡県編一九三六『静岡県史第三卷』
- ・静岡県編一九八九『静岡県史資料編四 古代』
- ・静岡県編一九八九『静岡県史資料編五 中世一』
- ・静岡県編一九九二『静岡県史資料編六 中世二』
- ・静岡県編一九九四『静岡県史資料編七 中世三』
- ・静岡県編一九九四『静岡県史通史編一 原始・古代』
- ・静岡県編一九九六『静岡県史資料編八 中世四』
- ・静岡県編一九九七『静岡県史通史編二 中世』
- ・静岡県埋蔵文化財調査研究所編二〇〇一『富士川S A関連遺跡 遺構編』
- ・静岡県埋蔵文化財調査研究所編二〇〇一『富士川S A関連遺跡 遺物編』
- ・静岡県埋蔵文化財調査研究所編二〇〇九『浅間大社遺跡山宮浅間神社遺跡』
- ・長崎健・外村南都子・岩佐美代子・稲田利徳・伊藤敬校注・訳一九九四『新編 日本古典文学全集四八 中世日記行集』（小学館）
- ・奈良国立文化財研究所編一九九〇『平城宮発掘調査出土土簡概報（二二）— 二条大路木簡一—』
- ・日本道路公団名古屋建設局・静岡県富士土木事務所・静岡県教育委員会・富士市教育委員会編一九八二『東平 遺構編』
- ・日本道路公団名古屋建設局・静岡県富士土木事務所・静岡県教育委員会・

- ・富士市教育委員会編一九八二『東平遺物・考察編』
- ・富士川町教育委員会編一九九一『浅間林』
- ・富士宮市教育委員会編一九九五『上石敷遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編一九九六『浅間大社』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇〇『元富士大宮司館跡』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇三『浅間大社Ⅱ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇三『富士宮市の遺跡Ⅱ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇五『村山浅間神社調査報告書』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇八『富士宮市の遺跡Ⅳ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一三『浅間大社Ⅲ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一四『元富士大宮司館跡Ⅱ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一五『山宮浅間神社遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編二〇二〇『史跡富士山発掘調査報告書』
- ・平凡社地方資料センター編二〇〇〇『日本歴史地名大系第二二巻 静岡県の地名』（平凡社）
- ・郵岡良弼一九〇二『日本地理志料三』（東陽堂支店）
- ・吉田東伍一九〇七『大日本地名辞書 中巻』（富山房）
- ・渡井英誉二〇〇八『富士山麓における遺跡分布』（富士学研究 六一—二）
- ・渡井英誉二〇二四『大宮における浅間大社の創建について』（富士学研究 二〇—一）

### 第二章

- ・生駒孝臣二〇二四『院政期の源氏・平氏と東海の武士団』（生駒孝臣編『東海の中世史① 中世東海の黎明と鎌倉幕府』、吉川弘文館）
- ・上野村役場・福本深道二〇〇九『上野村誌』（川田法成）
- ・内野区誌編纂委員会編二〇二二『内野区誌』（内野区）
- ・江田郁夫二〇〇一『奥大道と下野— 中世大道の特質について—』（『歴史』 九六）
- ・榎原雅治二〇一六『室町幕府と地方社会』（岩波新書）
- ・榎原雅治二〇二一『室町將軍の旅』（『地図で考える中世』、吉川弘文館）
- ・海老沼真治二〇一一『富士北麓若彦路』再考—『吾妻鏡』関係地名の検討を中心として』（『山梨県立博物館研究紀要』五）

- ・遠藤秀男一九六五『富士山をめぐる郷土の歴史』（富士宮市上井出小学校）
- ・遠藤秀男一九八一『富士川その風土と文化』（静岡新聞社）
- ・大石泰史二〇一〇「一五世紀後半の大宮司富士家」（『戦国史研究』六〇）
- ・大石泰史二〇二〇「今川範忠に関する基礎的考察」（戦国史研究会編『論集 戦国大名今川氏』岩田書院）
- ・小和田哲男二〇〇一「南北朝の内乱」（『武将たちと駿河・遠江』、初出一九八一）
- ・小和田哲男二〇一五『駿河今川氏十代』（戎光祥出版、初出一九八三）
- ・梶川貴子二〇〇八「得宗被官南条氏の基礎的研究―歴史学的見地からの系図復元の試み―」（『創価大学院紀要』三〇）
- ・梶川貴子二〇一〇「北条時輔後見南条頼員について」（『創価大学院紀要』三二）
- ・梶川貴子二〇一一「南条氏所領における相論」（『東洋哲学研究所紀要』二七）
- ・梶川貴子二〇一二「南条氏の得宗被官化に関する一考察」（『創価大学人文論集』二四）
- ・亀田俊和二〇一七『観応の擾乱』（中公新書）
- ・河合康二〇〇九『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館）
- ・木下聡二〇二二「山上杉氏と扇谷上杉氏」（吉川弘文館）
- ・木下聡二〇二四「室町幕府の対東国政策―駿河国を中心に―」（岡野友彦・大石泰史編『領主層の共生と競合』高志書院）
- ・木下良二〇〇九『事典 日本古代の道と駅』（吉川弘文館）
- ・木村茂光二〇一一『初期鎌倉政権の政治史』（同成社）
- ・木村茂光二〇一六『頼朝と街道―鎌倉政権の東国支配』（吉川弘文館）
- ・木村茂光二〇一八『頼朝政権と甲斐源氏』（『武田氏研究』五八号）
- ・木本弥太郎一九九二『ふるさと上井出の八〇〇年誌』（木本弥太郎）
- ・黒田基樹二〇二〇「享徳の乱における今川氏」（戦国史研究会編『論集 戦国大名今川氏』岩田書院）
- ・黒田基樹二〇二二『図説享徳の乱』（戎光祥出版）
- ・桑原藤泰著・足立鍬太郎校訂一九三二『駿河記 下巻』（加藤弘造、一九七四年に臨川書店より復刻）
- ・国立歴史民俗博物館編二〇一〇『武士とはなにか』
- ・国立歴史民俗博物館編二〇一八『日本の中世文書』
- ・小松原純子二〇〇七「静岡県浮島ヶ原低地の水位上昇履歴と富士川河口断層帯の活動」（『活断層・古地震研究報告』七、産業技術総合研究所地質調査総合センター）
- ・佐藤博信二〇一八『駿河今川範氏・範政文書の再検討―興津氏との関係を中心に―』（『年報中世史研究』四三）
- ・静岡県編一九八九『静岡県史資料編五 中世一』
- ・静岡県編一九九二『静岡県史資料編六 中世二』
- ・静岡県編一九九七『静岡県史通史編二 中世』
- ・芝川町誌編さん委員会編一九七三『芝川町誌』（芝川町）
- ・新庄道雄著・足立鍬太郎校訂一九七五『修訂駿河国新風土記 下巻』（国書刊行会）
- ・杉田区誌編纂委員会編二〇一〇『杉田区誌 霊峰富士とともに』（杉田区）
- ・杉橋隆夫一九八八『富士川合戦の前提―甲駿路「鉢田」合戦考』（『立命館文学』五〇九）
- ・杉山一弥二〇一九「室町時代の今川氏」（黒田基樹編『今川義元とその時代』戎光祥出版）
- ・杉山一弥二〇二四『駿河・遠江の守護・奉公衆・国人』（杉山一弥編『東海の中世史③ 室町幕府と東海の守護』吉川弘文館）
- ・高橋秀樹二〇二三『三浦義村』（吉川弘文館）
- ・高橋彌一九九〇「富士川雁堤と徳川幕府初期の治世への影響」（『土木史研究』一〇）
- ・勅使河原卓也二〇二四「治承・寿永の内乱と東海」（生駒孝臣編『東海の中世史① 中世東海の黎明と鎌倉幕府』、吉川弘文館）
- ・中谷竹蔵一九〇九『靈山富士』（三友堂）
- ・中村高平著・橋本博校訂一九三〇『駿河志料』（静岡郷土研究会、一九六九年に歴史図書社より復刻）
- ・西川公平二〇一四「甲斐源氏―東国に成立したもう一つの「政権」」（野口実編『治承く文治の内乱と鎌倉幕府の成立』、清文堂出版）
- ・沼久保区誌編纂委員会編一九九七『沼久保区誌』（沼久保区）
- ・林治一九一五『靈山富士案内』（官幣大社浅間神社本宮社務所）
- ・彦由一太一九五九「甲斐源氏と治承寿永の乱」（『日本史研究』四三）
- ・深沢洋一九七〇『星山の伝説と歴史』（緑星社）
- ・富士宮市安居山区編集委員会『安居山区誌』（井上甲一）



- ・富士宮市教育委員会編二〇二〇『歩く博物館ガイドブック 改訂版』
- ・堀川康史二〇二四「駿遠地域と今川氏」(谷口雄太編『東海の中世史②』足利一門と動乱の東海) 吉川弘文館)

- ・本間俊文二〇〇七「日興とその門弟―白蓮弟子分与申御筆御本尊目録事」の考察」(『日蓮教学研究所紀要』三五)

- ・松井茂一九七八「源頼朝と甲斐源氏」(『文化』四二―一・二)
- ・松尾四郎一九五八「史話と伝説 富士山麓の巻」(松尾書店)

- ・末木健二二〇〇九「富士山西麓「駿河往還」の成立」(『甲斐』一二二、山梨県郷土研究会)

- ・宮本区誌編集委員会二〇〇〇『宮本区誌』(富士宮市宮本区)
- ・山田邦明二〇一四『享徳の乱と太田道灌』(吉川弘文館)

- ・山梨県教育委員会文化課編一九八四『山梨県歴史の道調査報告書第三集(中道往還)』(山梨県教育委員会)

- ・山梨県教育委員会文化課編一九八五『山梨県歴史の道調査報告書第八集(若彦路)』(山梨県教育委員会)

- ・山本区誌編集委員会編一九九五『山本区誌』(富士宮市山本区)
- ・渡井正二一九九五『富士宮の昔話と伝説』(富士宮市教育委員会)

- ・渡井正二採話・編集二〇〇八『富士宮の昔話と伝説(改訂版)』(富士宮の昔話と伝説)制作委員会)
- ・渡井正二採話・編集二〇一二『富士宮の昔話と伝説(新訂版)』(富士宮の昔話と伝説)制作委員会)

※令制国地図は、鳴門教育大学助教授立岡裕士氏作成の「令制国の地図」による

### 第三章

- ・磯田隆一編一九八六『曹洞宗廣國山先照寺縁起』(廣國山先照寺護持会)
- ・稲葉伸道二〇一九「後醍醐天皇親政期の寺社政策」(『日本中世の王朝・幕府と寺社』吉川弘文館、初出二〇一五を補筆)

- ・大高康正二〇一三「富士村山修験と聖護院」(『富士山信仰と修験道』岩田書院、初出二〇一〇)

- ・大高康正二〇一三「中世後期の富士山表口村山と修験道」(『富士山信仰と修験道』岩田書院、初出二〇一一)

- ・大高康正二〇一三「富士山東泉院の歴史」(『富士山信仰と修験道』岩田書院)

- ・小和田哲男一九九一「武田水軍と駿河の海賊城」(佐藤八郎先生頌寿記念論文集刊行会編『戦国大名武田氏』名著出版)
- ・菅野憲道二〇〇四「河東一乱と富士門徒」(『興風』一六号)
- ・菅野憲道二〇〇五「武田氏の駿河侵攻と富士門徒」(『興風』一七号)
- ・菅野憲道二〇〇七「戦国末期の富士門徒」(『興風』一九号)

- ・桑原藤泰著・足立鋏太郎校訂一九三二『駿河記下巻』(加藤弘造、一九七四年に臨川書店より復刻)

- ・近藤祐介二〇一〇「修験道本山派における戦国期の構造の出現」(『史学雑誌』一一九―四)

- ・近藤祐介二〇一一「聖護院門跡と「門下」―一五世紀を中心に―」(『学習院大学文学部研究年報』五七)

- ・近藤祐介二〇二二「中世後期の〈頭山伏〉と山伏結合―八槻別当を題材に―」(『文化財学雑誌』一七)

- ・近藤祐介二〇二三「富士村山三坊における近世的体制の成立」(『山岳修験』七〇)

- ・近藤祐介二〇二四「富士山興法寺と武家権力」(岡野友彦・大石泰史編『領主層の共生と競合』高志書院)

- ・寺院本末帳研究会編一九九九『江戸幕府寺院本末帳集成上』(雄山閣出版)
- ・寺院本末帳研究会編一九九九『江戸幕府寺院本末帳集成中』(雄山閣出版)

- ・静岡県編一九三三『静岡県史料第二輯』
- ・静岡県編一九八九『静岡県史料編五 中世一』
- ・静岡県編一九九二『静岡県史料編六 中世二』
- ・静岡県編一九九四『静岡県史料編七 中世三』
- ・静岡県編一九九六『静岡県史料編八 中世四』
- ・静岡県編一九九七『静岡県史通史編二 中世』

- ・清水邦彦二〇〇四「実睿編『地藏菩薩靈驗記』再考 高達説をどう止揚するか」(『日本仏教総合研究』巻二)

- ・新庄道雄著・足立鋏太郎校訂一九七五『修訂駿河国新風土記下巻』(国書刊行会)

- ・杉橋隆夫二〇〇八「駿河国大岡荘の領主権と政治的・文化的位置」(『立命館文学』六〇五)

- ・曹洞宗全書刊行会編一九七六『曹洞宗全書大系譜一』

- ・高橋菜月二〇二三「戦国期の富士氏と大宮司」(『年報中世史研究』四八)

- ・千葉県史料研究財団編二〇〇一『千葉県の歴史資料編 中世三（県内文書二）』
- ・時枝務・長谷川賢二・林淳編二〇一五『修験道史入門』（岩田書院）
- ・中村高平著・橋本博校訂一九三〇『駿河志料』（静岡郷土研究会、一九六九年に歴史図書社より復刻）
- ・西岡芳文二〇〇五『新出『浅間大菩薩縁起』にみる初期富士修験の信仰』（『史学』七三一）
- ・日本道路公団名古屋建設局・静岡県富士土木事務所・静岡県教育委員会・富士市教育委員会編一九八二『東平遺物・考察編』
- ・日本道路公団名古屋建設局・静岡県富士土木事務所・静岡県教育委員会・富士市教育委員会編一九八二『東平遺構編』
- ・日本仏教人名辞典編纂委員会編一九九二『日本仏教人名辞典』（法蔵館）
- ・富士宮市教育委員会編一九九六『浅間大社』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇三『浅間大社Ⅱ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇三『富士宮市の遺跡Ⅱ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇五『富士宮市の遺跡Ⅲ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇五『村山浅間神社調査報告書』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇八『富士宮市の遺跡Ⅳ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一三『浅間大社Ⅲ』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一五『山宮浅間神社遺跡』
- ・富士宮市教育委員会編二〇一七『静岡県指定文化財（建築物）大石寺御影堂修理工事報告書（発掘編）』（日蓮正宗総本山 大石寺）
- ・富士宮市教育委員会編二〇二〇『史跡富士山発掘調査報告書』
- ・平凡社地方資料センター編二〇〇〇『日本歴史地名大系第二二巻 静岡県の地名』（平凡社）
- ・前田利久二〇一四『中世解説』（富士市立博物館編『六所家総合調査報告書 古文書①』富士市教育委員会）
- ・宮地直一・廣野三郎一九二九『富士の研究Ⅱ 浅間神社の歴史』（古今書院、一九七三年に名著出版より復刻）

第四章

- ・池上裕子一九八四『伝馬役と新宿』（『戦国史研究』八、池上『戦国時代社

- 会構造の研究』（校倉書房、一九九九）に再録）
- ・大石泰史編二〇一七『今川氏年表』（高志書院）
- ・大久保俊昭二〇〇八『戦国期今川氏の領域と支配』（岩田書院）
- ・大久保俊昭二〇二〇『大宮司富士氏と富士郡上方地方の研究―富士宮若と「小泉上坊」から―』（『駒沢史学』九四）
- ・大高康正二〇二一『特論 村山浅間神社文書』（静岡県富士山世界遺産センター・富士宮市教育委員会編『富士山表口の歴史と信仰―浅間大社と興法寺―』）
- ・小笠原春香二〇一九『戦国大名武田氏の外交と戦争』（岩田書院）
- ・奥野高廣・岩沢愿彦校注一九六九『信長公記』（角川書店）
- ・小野眞一編一九九七『白鳥山城と万沢・内房郷』（山梨県富沢町教育委員会）
- ・加藤学園考古学研究所一九九六『葛谷城と山静地方の城館』（葛谷城埋蔵文化財発掘調査団・山梨県南部町教育委員会・静岡県芝川町教育委員会）
- ・久保田昌希・大石泰史編二〇一〇『戦国遺文今川氏編第一巻』（東京堂出版）
- ・久保田昌希・大石泰史編二〇一一『戦国遺文今川氏編第二巻』（東京堂出版）
- ・久保田昌希・大石泰史編二〇一二『戦国遺文今川氏編第三巻』（東京堂出版）
- ・久保田昌希・大石泰史ほか編二〇一四『戦国遺文今川氏編第四巻』（東京堂出版）
- ・久保田昌希・大石泰史ほか編二〇一五『戦国遺文今川氏編第五巻』（東京堂出版）
- ・黒田基樹編二〇一三『伊勢宗瑞』（戎光祥出版）
- ・黒田基樹二〇一九『今川氏親と伊勢宗瑞』（平凡社）
- ・黒田基樹編二〇一九『今川義元とその時代』（戎光祥出版）
- ・黒田基樹二〇二四『駿甲相三国同盟』（角川新書）
- ・静岡県編一九九二『静岡県史資料編六 中世二』
- ・静岡県編一九九四『静岡県史資料編七 中世三』
- ・静岡県編一九九六『静岡県史資料編八 中世四』
- ・静岡県編一九九七『静岡県史通史編二 中世』
- ・静岡県教育委員会編一九八一『静岡県の城郭跡』
- ・柴辻俊六・平山優・黒田基樹・丸島和洋編二〇一五『武田氏家臣人名辞典』（東京堂出版）
- ・鈴木将典『戦国期の太田氏―戦国大名今川氏との関係を中心に―』（『静岡県地域史研究』一一、二〇二一年）

- ・鈴木将典 二〇二四「戦国大名今川氏の富士上方支配と地域社会」（岡野友彦・大石泰史編『領主層の共生と競合』高志書院）
- ・関根省治 一九九二『近世初期幕領支配の研究』（雄山閣出版）
- ・高橋菜月 二〇二三「戦国期の富士氏と大宮司」（『年報中世史研究』四八）
- ・長澤伸樹 二〇一七「今川氏と富士大宮楽市」（『楽市楽座令の研究』思文閣出版、初出二〇一六）
- ・平山優 二〇二二『図説武田信玄』（戎光祥出版）
- ・平山優 二〇二二『徳川家康と武田信玄』（角川選書）
- ・藤木久志 一九九七「戦場の村」（静岡県編『静岡県史通史編二 中世』）
- ・富士山かぐや姫ミュージアム編 二〇二二『河東をめぐる戦国時代』
- ・富士宮市教育委員会編 二〇〇〇『元富士大宮司館跡』
- ・富士宮市教育委員会編 二〇一四『元富士大宮司館跡Ⅱ』
- ・富士宮市史編纂委員会編 一九七一『富士宮市史上巻』（富士宮市）
- ・本多隆成 一九八九『近世初期社会の基礎構造』（吉川弘文館）
- ・本多隆成 二〇一九『徳川家康と武田氏』（吉川弘文館）
- ・前田利久 一九九二「戦国大名武田氏の富士大宮支配」（『地方史静岡』二〇）
- ・前田利久 一九九四「武田信玄の駿河侵攻と諸城」（『地方史静岡』二二）
- ・松本将太 二〇二二「戦国期における富士大宮の様相」（『富士山学』二）
- ・丸島和洋 二〇一〇「高野山成慶院『駿河国日牌月牌帳（駿州泉州過去帳）』（『年報三田中世史研究』一七）
- ・丸島和洋 二〇一一『戦国大名武田氏の権力構造』（思文閣出版）
- ・丸島和洋 二〇一六『戦国大名武田氏の家臣団』（教育評論社）
- ・水野智之編 二〇二四『東海の中世④ 戦国争乱と東海の大名』（吉川弘文館）
- ・宮地直一・廣野三郎 一九二九『富士の研究Ⅱ 浅間神社の歴史』（古今書院、一九七三年に名著出版より復刻）
- ・森田香司 二〇〇一「今川氏親と文亀・永正の争乱」（静岡県地域史研究会編『戦国期静岡の研究』清文堂出版）

## 第五章

- ・足立鉄太郎 一九三〇「富士山頂三島岳南経塚遺物中の経筒と経巻とにつき

- て」（『考古学雑誌』二〇一一二）
- ・足立鉄太郎 一九三一「富士山頂の埋経につきて」（静岡縣『静岡縣史蹟名勝天然紀念物調査報告』第七集）
- ・阿部美香 二〇〇三「曾我兄弟の母―懸子の文を通して」（村上美登志編『曾我物語の作品宇宙（国文学解釈と鑑賞別冊）』至文堂）
- ・池田令道 二〇〇七「竹取物語と富士戒壇の縁由―千葉妙本寺蔵『当家聞書』を読んで」（『興風』一七号）
- ・井上卓哉 二〇一四「木版手彩色『富士山禅定図』にみる富士山南麓の信仰空間」（静岡県博物館協会研究紀要 三七）
- ・石川透 二〇〇〇『富士山縁起』解題・翻刻（『むろまち』四）
- ・植松章 八二〇一五「末代上人の再検討」（『月の輪』三〇）
- ・大黒喜道 二〇〇七「日興門流における本因妙思想形成に関する覚書（四）」（『興風』一九）
- ・大高康正 二〇一二「参詣曼荼羅の研究」（岩田書院）
- ・大高康正 二〇一三「富士山縁起と『浅間御本地』」（徳田和夫編『中世の寺社縁起と参詣』竹林舎）
- ・大高康正 二〇一三「富士山信仰と修験道」（岩田書院）
- ・大高康正 二〇一六「富士山の参詣曼荼羅を絵解く…重要文化財指定本と新出松栄寺本」（『聚美』一八号）
- ・大高康正 二〇一七「富士参詣曼荼羅にみる富士登拝と参詣路」（『国史学』二二一）
- ・大高康正 二〇一九「いったい何が『参詣曼荼羅』なのか」（『環境考古学』富士山 三）
- ・大高康正編 二〇二〇『古地図で楽しむ富士山』（風媒社）
- ・大高康正 二〇二二「富士山の『合目』標記に関する一考察」（『富士山学』一）
- ・大塚紀弘 二〇一五「末代上人の富士山埋経と如法経信仰」（『日本宗文化史研究』一九一二）
- ・奥脇和男 二〇一五「富士山の信仰と『お鉢巡り』―正福寺版『八葉九尊図』を中心に―」（『富士吉田市歴史民俗資料館研究紀要』一）
- ・梶原正和・大津雄一・野中哲照校注・訳 二〇〇二『新編日本古典文学全集 五三 曾我物語』（小学館）
- ・勝又直人 二〇一一「三島ヶ岳経塚小考―富士山本宮浅間大社所蔵写真資料から―」（『財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要』一七）

- ・勝又直人二〇一三「富士山頂の経塚」(『考古学ジャーナル』六四八)
- ・勝又直人二〇一七「富士山頂の状況」(静岡県考古学会二〇一六年度シンポジウム実行委員会編『富士山信仰への複合的アプローチ』静岡県考古学会)
- ・勝又直人二〇二二「富士山頂三島岳麓出土『無量義経』・『妙法蓮華経』」(静岡県富士山世界遺産センター編『富士山巡礼路調査報告書 大宮・村山口登山道』)
- ・勝又直人二〇二四「三島ヶ岳経塚」(浜田弘明・阿由葉司・小川直之・斎木勝・大工原豊・谷口康浩編『日本石造文化事典』朝倉書店)
- ・角川源義編一九六九『妙本寺本曾我物語』(角川書店)
- ・神奈川県立金沢文庫編二〇〇三『寺社縁起と神仏霊験譚』
- ・神田龍身二〇二四『鎌倉幕府の文学論は成立可能か!?—真名本『曾我物語』テキスト論』(勉誠社)
- ・菊池邦彦二〇〇八「富士山信仰における庚申縁年の由緒について」(『国立歴史民俗博物館研究報告』一四二)
- ・菊池邦彦二〇一五「富士山縁起」(『富士吉田市歴史民俗博物館研究紀要』一)
- ・黒板勝美編一九六四「本朝世紀」(『国史大系第九巻』吉川弘文館)
- ・黒板勝美編一九六六「本朝文集」(『国史大系第三〇巻』吉川弘文館)
- ・小林直樹二〇〇四「中世説話集とその基盤」(和泉書院)
- ・小山一成一九八三「富士の人穴草子—研究と資料」(文化書房博文社)
- ・坂井孝一二〇一四『曾我物語の史的研究』(吉川弘文館)
- ・桜井徳太郎一九七五「縁起の類型と展開」(桜井徳太郎・萩原龍夫・宮田登校注『日本思想大系二〇』寺社縁起』岩波書店)
- ・桜井徳太郎・萩原龍夫・宮田登校注一九七五「白山之記」(『日本思想体系二〇』自社縁起』岩波書店)
- ・笹生衛二〇一四「富士の神の起源と歴史」(『特別展富士山—その景観と信仰・芸術—』国学院大学博物館)
- ・佐野武勇一九三〇「富士山頂上三島ヶ嶽の経塚」(『考古学雑誌』二〇—一〇)
- ・静岡県富士山世界遺産センター編二〇一八『富士山巡礼路調査報告書 須走口登山道』
- ・静岡県富士山世界遺産センター編二〇二二『富士山巡礼路調査報告書 大宮・村山口登山道』
- ・静岡県富士山世界遺産センター編二〇二五『富士山巡礼路調査報告書 須走口登山道・御殿場口登山道』
- ・静岡県富士山世界遺産センター・富士宮市教育委員会編二〇二二『富士山表口の歴史と信仰—浅間大社と興法寺—』
- ・下坂守一九九三『参詣曼荼羅』(至文堂)
- ・鈴木雅史二〇一五『富士山頂上の歴史』(エース出版)
- ・駿河郷土史研究会編一九八九『富士市の仏教寺院』
- ・平雅行一九九四「越前・若越の顕密寺社の展開」(福井県編『福井県史通史編二 中世』)
- ・高橋菜月二〇二〇「中近世期表口の道者管理と役銭」(『富士学研究』一六)
- ・竹谷鞆負二〇〇六『富士山の祭神論』(岩田書院)
- ・田村正彦二〇二二「絵巻『富士の人穴』」(『常信筆絵詞之巻物』) についてその一」(『日本文学研究』六〇)
- ・田村正彦二〇二二「絵巻『富士の人穴』」(『常信筆絵詞之巻物』) についてその二」(『日本文学研究』六一)
- ・徳田和夫一九九〇「絵語りと物語り」(平凡社)
- ・徳田和夫二〇〇三「室町期の民俗社会と曾我物語」(村上美登志編『曾我物語の作品宇宙』(国文学解釈と鑑賞別冊)』至文堂)
- ・中野真麻理一九九八「一乗拾玉抄の研究」(臨川書店)
- ・西岡芳文二〇〇三「中世の富士山—「富士縁起」の古層をさぐる—」(峰岸純夫編『日本中世史の再発見』吉川弘文館)
- ・西岡芳文二〇〇四「新出『浅間大菩薩縁起』にみる初期富士修験の様相」(『史学』七三—一)
- ・能学学会編二〇二二『能と狂言一九曾我兄弟の伝承と能』歴史・物語・芸能』
- ・野中至編一九〇七『富士案内』(春陽堂)
- ・福田晃解説一九八七『真名本曾我物語一』(平凡社・東洋文庫四六八)
- ・福田晃解説一九八八『真名本曾我物語二』(平凡社・東洋文庫四八六)
- ・富士市教育委員会編二〇一四『六所家総合調査報告書 古文書①』
- ・富士市立博物館編二〇一〇『富士山縁起の世界—赫夜姫・愛鷹・犬飼—』
- ・富士宮市教育委員会編二〇〇五『村山浅間神社調査報告書』
- ・藤村翔二〇二二「平安時代末期の富士山信仰—富士市・医王寺経塚出土資料とその周辺」(『富士山学』一)

- ・富士吉田市歴史民俗博物館編一九九七『富士山明細図』
- ・富士吉田市歴史民俗博物館編二〇〇二『富士の信仰遺跡』
- ・富士吉田市歴史民俗博物館編二〇〇八『富士の神仏』
- ・堀内眞一九九五「富士に集う心―表口と北口の富士信仰」(網野善彦・石井進編『中世の風景を読む3 境界と鄙に生きる人々』新人物往来社)
- ・三宅敏之一九六一「富士山頂における一切経埋納供養について」『歴史考古』五(「富士上人末代の埋経」で三宅『経塚論攷』(雄山閣、一九八三)に再録)
- ・三宅敏之一九八〇「富士曼荼羅と経典埋納」(五来重編『修験道の美術・芸能・文学(Ⅰ)』名著出版)
- ・村上学一九八四『曾我物語の基礎的研究―本文研究を中心として』(風間書房)
- ・村上美登志校注一九九九『太山寺本曾我物語』(和泉書院)
- ・米屋優二〇〇二「富士参詣曼荼羅を読み解く」(『図説 富士山百科』新人物往来社)

#### 富士宮市の弥生土器編年

- ・佐藤由紀男・荻野谷正宏・篠原和夫二〇〇二「遠江・駿河地域」(加納俊介・石黒立人編『弥生土器の様式と編年 東海編』木耳社)
- ・永井裕幸二〇一五「Ⅳ各地の弥生土器及び並行期土器群の研究 5 中部」(佐藤由紀男編『考古調査ハンドブック⑫ 弥生土器』ニューサイエンス社)
- ・中塚武二〇二二『気候適応の日本史』(吉川弘文館)
- ・中塚武・若林邦彦・樋上昇編二〇二〇『気候変動から読みなおす日本史③ 先史・古代の気候と社会変化』(臨川書店)
- ・沼津市教育委員会編一九九〇『雌鹿塚遺跡発掘調査報告書』
- ・宮地直道二〇〇七「過去一万年一〇〇〇年間の富士火山の噴火史と噴出率、噴火規模の推移」(日本火山学会編『富士火山』山梨県環境科学研究所)

協力者（五十音順・敬称略）

赤池一真、アジア航測株式会社、明日香村教育委員会、安養寺、井出光彦、磐田市、王塚装飾古墳館、小山町教育委員会、かみつけの里博物館、函南町教育委員会、北山本門寺、木本達也、京都国立博物館、小泉久遠寺、小泉翔太、国立歴史民俗博物館、駒澤大学図書館、埼玉県立さきたま史跡の博物館、堺市、佐野静雄、佐野湛要、静岡県立中央図書館、静岡県立美術館、静岡市、静岡市埋蔵文化財センター、静岡市立登呂博物館、静岡市歴史博物館、正福寺、真光寺、鈴木正二、清見寺、相沼浅間神社、題経寺、大頂寺、醍醐寺、大石寺、田村正彦、東京大学史料編纂所、東京大学総合研究博物館、時枝務、中野吉行、中町浅間神社、奈良県立橿原考古学研究所、奈良文化財研究所、西山本門寺、沼津市、浜松市博物館、林原美術館、久伊豆神社、袋井市教育委員会、富士山かぐや姫ミュージアム、富士山本宮浅間大社、ふじさんミュージアム、富士勝文化庁文化資源活用課、保坂康夫、北海道地図株式会社、堀部正円、本庄元直、本間俊文、本間裕史、前嶋秀張、宮崎公夫、宮崎善旦、妙本寺、村山浅間神社、山梨県立博物館、和歌山県立紀伊風土記の丘、渡井仁司

第一編

第一章 池谷信之

第二章 深澤麻衣（監修…小林謙一）

第三章 渡井英誉（監修…篠原和大）

第四章 原 悠翔（監修…渡井英誉）

第二編

第一章 山田邦明（第一節・第二節・第三節・第五節）

原 悠翔（第四節、監修…渡井英誉）

第二章 高橋菜月（第一節・第二節・第三節）

松本将太（第四節・第五節・第六節）

第三章 高橋菜月（第一節・第二節・第三節・第五節・第六節）

原 悠翔（第四節・第七節コラム、監修…渡井英誉）

山田邦明（第七節）

第四章 鈴木将典（第一節・第二節・第三節）

松本将太（第四節・第五節・第八節）

原 悠翔（第四節コラム・第八節コラム、監修…渡井英誉）

山田邦明（第六節）

厚地淳司（第七節）

第五章 大高康正（第一節・第三節・第五節）

勝又直人（第二節）

阿部美香（第四節）

梶山沙織（第六節）

■富士宮市の縄文土器編年

■富士宮市の弥生土器編年

■中世の郷村に関わる史料と地名表記

深澤麻衣（監修…小林謙一）

渡井英誉（監修…篠原和大）

山田邦明

委員長 谷川章雄 早稲田大学名誉教授

副委員長 橋本誠一 静岡大学名誉教授

委員 小山真人 静岡大学名誉教授

委員 西田かほる 静岡文化芸術大学文化政策学部教授

委員 松田香代子 愛知大学非常勤講師

委員 山田邦明 愛知大学文学部教授

執筆員・監修者

谷川章雄 早稲田大学名誉教授

池谷信之 明治大学黒耀石研究センター特任教授

深澤麻衣 袋井市教育委員会教育部生涯学習課学芸員

渡井英誉 静岡市埋蔵文化財センター会計年度任用職員

小林謙一 中央大学文学部教授

篠原和大 静岡大学人文社会科学部教授

山田邦明 愛知大学文学部教授

鈴木将典 静岡市歴史博物館学芸課主任（学芸員）

厚地淳司 駒澤大学非常勤講師

大高康正 静岡県富士山世界遺産センター教授

勝又直人 静岡県スポート・文化観光部文化財課主査

阿部美香 昭和女子大学非常勤講師

梶山沙織 宮城県教育庁文化財課技術主査

事務局（教育部文化課市史編さん室）

中野香織 市史編さん室長

渡邊俊太 主任主査

保竹貴幸 主任学芸員

松本将太 学芸員

高橋菜月 学芸員

小倉匠 主事

原 悠翔 学芸員

佐野 清 会計年度任用職員

- 平維盛……………90,91  
 平時忠……………88  
 高尾山古墳……………32,44  
 鷹野徳繁……………115,157,160,163  
 滝戸遺跡…14,15,21,22,23,31,36~39,47,48,  
 54~57,206,209,212,214,219,220,221  
 滝ノ上遺跡……………21,22  
 武田(穴山)勝千代……………126,163  
 武田勝頼……………65,77,79,115,123,134,157,  
 160,161  
 武田信玄(晴信)…65,85,86,87,115,117,  
 133,134,136,141,148,149,150,151,156,  
 157,160,170,171,233  
 武田信虎……………136,137,140,141,204  
 武田信義……………89,90,91,96  
 武田義信……………85,141,148  
 辰野遺跡……………24,26,209,212  
 豎穴式石槨……………40,41,42  
 溜井……………55,56  
 池西坊…118,119,120,175,186,188,202  
 長者ヶ原遺跡……………37,38,39  
 月の輪上遺跡…31,36~39,46,48,173,  
 220  
 月の輪下遺跡……………46,47,48  
 月の輪平遺跡……………15,46,47,48  
 辻之坊…118,119,120,175,176,186,205  
 東海道…63,64,84,93,100,105,176,192,  
 196,198,199,231  
 銅鐸……………28,30  
 土器棺墓……………30,34  
 土偶……………21,22,25  
 徳川家康(松平元康)…62,64,66,86,87,  
 123,134,143,148,149,150,160~167,170,  
 171,172,233  
 鳥羽法皇……………184,185,203  
 篠簜の戦い……………156,157,160,233  
 中道往還(甲州街道)…89,90,142,146,  
 157,158,159,233  
 中村一氏……………163,168,233  
 成出若宮(若宮八幡宮)…77,126,127  
 南条時光……………66,67,71,99,101,132  
 南原遺跡……………21,22,24,212  
 南部谷戸遺跡……………15,39,47  
 西山本門寺……………99,128,129,132,133,  
 134,138,150,231  
 日我……………71,133,142,192,193  
 日健……………134  
 日郷……………132  
 日出……………165  
 日蓮…66,67,79,84,85,98,99,128,129,  
 130,132,133,134,230  
 日興……………70,71,77,98,99,132,134  
 日春……………134  
 新田四郎忠常……………193,194,230  
 新田義貞……………100,114
- 野中向原遺跡……………47,51  
**は** 土師器……………52,54,55,56,122,124  
 箸墓古墳……………32,40,44,217  
 羽柴(豊臣)秀吉……………162,163,168,233  
 鉢田の戦い……………89,90,91,230  
 花蔵の乱……………140,232  
 埴輪……………41~45  
 原昌胤……………156  
 東田遺跡……………47,48,54,55,57  
 東平遺跡……………57,80,81,82,122  
 卑弥呼……………32,33,40,217  
 平等寺……………129,131  
 表裏縄文土器…15,16,17,206,207,208  
 微隆起線文土器……………13,14,15,206  
 富知神社……………97,112,126,127,230  
 富士川…3~6,11,24,34,36,39,62,63,64,  
 68,70,72,79,82,84,85,90,91,115,140,148,  
 158,162,191,199,215,230,231  
 富士川の戦い……………88~91,96,230  
 富士金山(麓金山)…145,158,165,166,  
 172,232  
 富士五箇寺……………128,134  
 富士山本宮浅間大社(浅間大社、浅間宮)…  
 47,52,53,54,57,64,69,70,71,80,82,83,  
 84,87,100,103,105,106,111~116,119,122,  
 123,125,126,127,130,131,138,139,140,  
 145,146,151,152,156,157,160,162,163,  
 170,171,173~176,179~182,186,187,191,  
 194,197,198,199,204,230~233  
 富士荘……………69,70,96  
 富士忠時……………109,110,111,175,232  
 富士親時……………111,175,232  
 富士の人穴草子……………194,195  
 富士信忠…74,115,143,146,147,149,  
 150,151,156,157,159,170,233  
 富士信通…115,143,149,151,157,160,  
 163,233  
 富士の巻狩り…90,92~95,97,161,193,  
 230  
 富士又八郎……………143,233  
 富士曼荼羅図……………171,196,197,198,  
 200~204  
 富士宮若……………138,142,232  
 富士祐本……………111,232  
 別所遺跡……………35  
 別所一号墳……………56,58  
 別所稻荷塚古墳……………54,56,58  
 別所蛇塚古墳……………54,56,58  
 方形周溝墓…28~31,35,38,39,48,215  
 宝積寺……………129,131  
 北条氏綱……………140,141,142,171,232  
 北条氏直(国王)…66,150  
 北条氏信……………151  
 北条氏規……………66
- 北条氏政…66,74,141,149,150,151,164  
 北条氏康……………141,149,151  
 北条時政……………88,89,94,96,97  
 北条泰時……………96,97,113,230  
 北条義時……………96,97,113,230  
 坊地南遺跡……………38,47  
 宝幢院……………131,191  
 堀之内式……………22,23,212  
 本能寺の変……………162,233  
**ま** 磨製石斧……………28,35  
 末代…83,116,118,176,180~185,187,  
 203,204,230  
 丸子式土器……………34,215  
 丸ヶ谷戸遺跡…31,32,36,39,47,49,50,  
 173,219  
 三島ヶ岳経塚……………83,180~183,185  
 源頼朝……………70,88~97,161,192,230  
 源頼政……………88  
 峯石遺跡……………80,81  
 箕輪遺跡……………19,21,209  
 妙本寺…133,142,144,186,189,190,  
 192,193  
 妙蓮寺……………99,128,129,134  
 無文土器……………8,17  
 村山口…174,176,196,198,199,200,205  
 村山浅間神社…80~83,117~121,124,  
 125,173,175,176,196,203  
 室町幕府…62,100,102,104,106~111,  
 114,123,136,231,232,233  
 雌鹿塚式土器…30,31,32,36~39,215,216,  
 217,219,220,221
- や** 薬師如来……………175,201,202  
 藪塚古墳……………54,56  
 邪馬台国……………32,33,217  
 山宮浅間神社…52,83,112,116,123~127,  
 173  
 山宮大夫……………116,117,232  
 槍先型尖頭器……………4,13,16  
 有舌尖頭器……………13~16,18  
 袖野辻遺跡…21,22,37,47,54,211,212  
 袖野和平遺跡……………26,212  
 横穴式石室……………41,42,43,45,56  
 撚糸文土器…10,14,16,17,18,207,208,209
- ら** 頼慶……………117,232  
 連雀町遺跡……………39
- わ** 若之宮(若之宮浅間神社)…126,127  
 若宮遺跡…15~18,47,207,209,214  
 湧玉池…64,112,113,170,198,199  
 倭国大乱……………32,33



**あ** 浅間大神(浅間神、浅間大明神)…64,112, 113,187,230  
 足利成氏……………109,231  
 足利尊氏(高氏)…100~105,114,231  
 足利直義…100,102,103,105,114,231  
 足利政知……………110,111,136,232  
 足利持氏……………106~109,231  
 足利基氏……………102,104  
 足利義教……………106~109,115,231  
 足利義政……………110,111,136  
 足利義満……………73,104,107,231  
 飛鳥井雅有……………63,64,84,231  
 吾妻鏡……………73,90,94,97,126,192,194  
 厚手爪形文土器……………14,206,207  
 穴山信君(梅雪)…79,85,86,126,130, 131,156,157,158,161,162,163,172  
 阿弥陀如来……………194,201,202  
 安養寺……………25,112,129,130,131  
 伊豆山権現(伊豆山神社、伊豆走湯山)…88,103,118,175,176,182,184  
 泉遺跡…31,36,37,47,48,54,55,57,80,81  
 石敷遺跡…15,17,18,37,80,81,173,209  
 井出駒若……………86,142,232  
 井出正次……………164~168,233  
 伊東祐親……………88,94  
 稲子城……………154,155  
 庵原郡(廬原郡)…68,72,73,79,97,126, 127,129,156  
 今川氏真…64,73,87,115,120,121,131, 141,143,145~151,164,170,233  
 今川氏親…77,131,133,136,137,138,232  
 今川氏輝…71,119,133,137,138,140,232  
 今川範氏……………104,105,114,231  
 今川範国……………101,104,187  
 今川範忠…104,106,108,110,114,131, 231,232  
 今川範政…104,106,107,115,123,187  
 今川範満……………136  
 今川泰範……………73,105,106,231  
 今川義忠…71,104,110,111,136,232  
 今川義元…64,71,77,85,86,115,116, 117,119,121,130,131,133,140~146, 148,164,170,232  
 上杉憲実……………107,108,109  
 上杉憲忠……………109  
 上杉持朝……………109,110,232  
 牛ヶ沢遺跡……………80,81,82  
 薄手爪形文土器……………13,14,207  
 潤井川…3,11,15,23,36,39,47,48,52, 54,55,57,62,64,65,66,70,77,80,81,84, 135,165,199  
 永享の乱……………108,109,231  
 遠州念劇……………143,233  
 円墳……………40,41,43,44,45,56  
 押圧縄文土器…13~16,206,207,208

大廓式土器……………32,217  
 大鹿窪遺跡……………6,8,12~16,18,19,27, 206~209  
 大中里坂下遺跡…19,21,24,47,209,212  
 大庭景親……………88  
 大宮口……………174,176,199  
 大宮城…52,53,54,57,65,74,80,82,83, 140,146,148~153,156,157,158,173, 233  
 大宮薬市令……………146,147  
 大室古墳……………54,56,57  
 桶狭間合戦……………146,233  
 尾崎砦……………154,155  
 押型文土器…10,17,18,207,209,210  
 押出遺跡……………35  
 織田信長…86,143,147,148,160,161, 162,233  
**か** 赫夜姫…186~190,192,193,202,203  
 懸川城(掛川城)…141,149,150,233  
 風祭神事……………145,232  
 葛山頼真……………119  
 葛山氏元……………85,86  
 河東一乱…115,116,121,140,141,142, 144,145,153,170,171,191,232  
 狩野元信……………196  
 上石敷遺跡…15,21,22,47,50,80,81,209  
 上谷戸遺跡……………21,22  
 カワラケ…83,122,123,124,135,152, 173  
 環濠集落…29,30,31,35~39,215,216  
 神祖遺跡……………47,50  
 神祖二号墳(三号墳)……………54,56  
 神祖山ノ神古墳……………54,56  
 観応の擾乱……………102,104,105,231  
 金之宮(金宮、金宮神社)…74,77,86,126, 127,138,162  
 蒲原荘……………68,72,73,79  
 北山本門寺…64,77,98,99,128,129,132, 133,134,138,164,165,168,171,190, 192,231  
 北山用水(本門寺用水)…165,166,233  
 木ノ行寺遺跡……………54,55,56,57  
 享徳の乱……………109,232  
 久遠寺(小泉)…71,128,129,132,133, 134,138,142,144,231  
 久遠寺(身延山)……………128  
 葛谷城……………154,155  
 工藤祐経……………94,192  
 群集墳……………43,45,55,56,58  
 玦状耳飾……………20  
 玄広恵探(花蔵殿)……………140  
 建武の新政……………100,114,231  
 光徳寺(興徳寺)…129,148,150,171  
 興法寺…117~121,129,131,138,149, 174,175,176,186,194,196,198,199,200,

203,205,232  
 虚空蔵社古墳……………54,56  
 黒曜石……………4~7,11,16  
 後白河法皇……………70,92,113  
 後醍醐天皇…100,101,113,114,231  
 小塚遺跡……………2~7,14,15,18,19,20, 206~210  
 木花開耶姫命……………187  
 小松原遺跡……………15,16,207,208  
 五領ヶ台式……………20,22,209,210,212  
**さ** 逆林(精進川坂林)……………79,171  
 三州錯乱……………143  
 三連甕形土器……………51  
 倭文神社……………112,126,127,230  
 寺内山ノ神古墳……………54,56  
 芝川…3,6,11,14,15,22,24,26,47,54, 62,64,65,66,70,77,79,80,165  
 芝川海苔(富士海苔)……………66,70  
 渋沢遺跡……………34,35,215,218  
 下谷戸遺跡……………35  
 下高原遺跡……………2,3,4,15  
 遮光器土器偶……………25  
 寿桂尼……………133,137  
 聖護院……………118,120,121,232  
 祥禪寺……………129,131  
 白鳥山城……………154,155  
 須恵器……………41,45,52,54,55,56,81  
 杉田中村遺跡……………25  
 駿甲相三国同盟……………141,148,149  
 駿州往還……………158,159  
 石鎌……………13,16,18,28,35  
 浅間大菩薩(富士浅間大菩薩、富士大菩薩)…89,116,126,127,175,177,182,183, 187,188,192,194,195,202,203,204  
 千居遺跡……………21~24,212  
 先照寺…70,71,129,130,131,148,171  
 前方後方型周溝墓……………49,50  
 相沼浅間神社……………126,127  
 曾我兄弟の仇討ち……………93,94,192,230  
 曾我物語…94,190,192,193,194,232  
 曾利式……………21~24,212  
**た** 代官屋敷遺跡……………15,17~20,209  
 大鏡坊…117~121,170,175,186,232  
 大宮司(大宮司富士氏)…52,54,69,100, 103,105,106,111,112,114,115,117,119, 130,131,138,142,145,146,151,152,153, 157,160,163,168,175,176,231,233  
 醍醐寺……………106,107,110,120,131,193  
 大石寺…23,86,98,99,128,129,132,133, 134,135,137,138,140,142,171,231  
 大仙陵古墳……………41,52  
 大頂寺……………129,131,177  
 大日如来…111,119,175,176,177,178, 179,187,201~205,232  
 平清盛……………70,88,185,230

# 富士宮の歴史 通史編 I

History of Fujinomiya General History Volume I

発行日 令和8年(2026)3月

編集 市史編さん委員会

発行 富士宮市

事務局／教育部文化課市史編さん室

住所／〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町 150 番地

電話／0544-22-1111 (代表)

印刷 株式会社きうちいんさつ



本書に掲載された文章・図表・写真の無断複製・転載を禁じます。それらの著作権は、特別な表示のあるもの以外は富士宮市ならびに執筆者に帰属します。

© Fujinomiya City 2026 Printed in Japan

No reproduction or republication of this publication is allowed without prior permission.

# 富士宮の歴史



通史編 I

General History Volume I



静岡県富士宮市